

令和4年度第5回南相馬市小高区地域協議会 会議録

- 1 日 時：令和4年8月19日（金）
午後2時00分～午後4時00分
2 場 所：浮舟文化会館 研修室1・2

【出席委員名 14名】

会 長	林 勝典	委 員	堀内 洋伯
副会長	阿部 貞康	委 員	小牛田 一男
委 員	末永 義人	委 員	末 芳 治
委 員	小林 友子	委 員	飯塚 宏
委 員	半谷 善弘	委 員	杉 重典
委 員	本田 博信	委 員	半谷 恵美子
委 員	西山 喜代子	委 員	志賀 由紀夫

【欠席委員 名】

委 員 渡邊 静子

●南相馬市職員

小高区役所長	上野 勝
小高区地域振興課長	佐藤 克巳
小高区市民総合サービス課長	高野 真至
小高区地域振興課おだかぐらし担当課長	志賀 和浩
小高区地域振興課自治振興担当係長	烏中 いずみ
小高区地域振興課副主査	大場 優
小高区地域振興課主事	森 和紀
小高区地域振興課おだかぐらし担当係長	木幡 琴絵
小高区地域振興課おだかぐらし担当主事	山本 遥香

1. 開 会

○事務局

只今より令和4年度第5回小高区地域協議会を開催いたします。本日の会議の成立要件につきまして、事務局より報告を申し上げます。

本日の欠席委員は、渡邊 静子委員です。地域協議会委員15名中、14名の出席ということで、過半数を超えております。協議書10(2)により、本日の会議は成立しております。初めに、林会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

小高区地域協議会 林会長よりあいさつ

3. 議 事

○事務局

議事の進行については、規定により、会長が会議の議長となります。林会長、よろしくをお願いいたします。

(1) 議事録署名人の指名

○林会長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人は、堀内 洋伯委員、小牛田 一男委員の2名にお願いします。

4. その他

(1) 令和4年度 小高区地域協議会先進地視察研修について

○林会長

次に、その他として、「令和4年度 小高区地域協議会先進地視察研修について」でございます。事務局より説明をお願いします。

小高区地域振興課（事務局）より説明

○林会長

皆さんからの要望をもとに、事務局案として5件の提案がありました。

〔案4〕以外は、地域コミュニティに関する内容となっております。私の意見ではありますが、いまの小高区で必要なことは、コミュニティの再生や行政区の復活になってくると思われます。皆様からも、忌憚のないご意見を頂ければと思います。

先日の会議で、今年度の研修はオンラインで実施することとなりました。昨年度もオンラインで実施しており、徳島県の上勝町で「いろどり事

業」・「ゼロ・ウェイスト事業」について研修を行いました。参考になる事例もあったかと思えます。

○末委員

私としましては、〔案5〕の檜葉町への研修がよいと思えます。なぜかと言いますと、小高区と同じ原発事故の被害を受け、同じような状況の中、どの様な活動を行っているのかを、お互いに話し合えたらと思うからです。

○阿部委員

私も、末委員と同じく、檜葉町への研修がいいと思えます。雲南市の事例も興味はありますが、組織がかなり大きいのではないかなと思えます。南相馬市全体で考えるのであればよいと思えますが、小高区の規模ですとなかなか参考にしにくいと思えます。檜葉町であれば、同じ状況の中で実施している事例を参考にしながら、小高区にも生かせるのではないかなと思えます。

○杉委員

私は〔案4〕の石巻防災センターも興味があります。自然災害が多発する昨今、今後の小高の災害対策として、地域住民の防災力強化の取組は活かすことができるのではないかなと思えます。

○志賀委員

私は、〔案3〕と〔案5〕を提案させていただきました。オガールについては、公民連携で外部有識者を招いて立ち上げた、コンパクトタウンになっています。かなりお金はかかっている施設のため、「参考に…」となると、なかなか難しいかと思っています。〔案2〕の富谷市の施設ですが、こちらも人口急増地域のため、小高区とは状況が違う気がしています。

〔案1〕の雲南市の活動については、ボトムアップ型の事業なので、「できない」という話は別として、こういった事業を市民から具現化しようとしている事例としては興味があります。〔案5〕のならばみらいの事例ですが、同じ被災地なので悩みを共有できる場所はあると思えます。私も少しだけ、こちらの団体に携わったこともあり、いまでも連絡を取り合ったりしているのですが、活発に活動している団体です。商工会との連携も強く、働きやすい・動きやすい組織になっており、勉強になると思っています。結論として、私は〔案1〕か〔案5〕がいいと思えます。

○林会長

オガールのような、いろいろな施設が一カ所にまとまっている施設は岩手県には多いですね。

○志賀委員

交流センターができるときに、「同じような施設にならないかな」と思っていたのですが……違いましたね。

○林会長

[案3]の施設については、現地に行ってみれば一番いいのですが、果たしてオンラインでどれだけわかるのかな、というのはありますね。

○半谷委員

改めて、研修のあり方について確認をしたいのですが、こちらから「こういう内容についてお伺いしたいです」というのをお伝えして、相手方の方でパワーポイント等を用いてご説明いただき、そのあと意見交換という形になるのでしょうか。

○林会長

そうです。

○半谷委員

そうなると、施設そのものを動画やパワーポイントで見ても、なかなか雰囲気を感じられないということはあるのかなと思います。意見交換だけ、ということでも話が弾まなかったりすると思うので…。講義の内容については、事前に事務局の方で「こういった内容で、何分くらいで」という打合せをしていただければ、ということによろしいですか。

○事務局

事前に内容については、視察先と相談いたします。

○林会長

事務局より提案のあった視察先については、事前に「受入可能」という話をつけているところですので、視察先が決定すれば正式に申し込んで、内容を詰めていく形になると思います。いまの小高区で取り組むべき課題に対して、どの様に考えるか、というところで、視察先を検討できればと思います。

昨年も、浮舟文化会館のホールを使って、オンラインで実施しました。画面越しではありましたが、意外と気軽に意見交換はできたと感じております。

昨年、研修を受けた上勝町の「いろどり事業」では、高齢者の方がパソコン等を使って朝一番の注文の受付を早いもの勝ちで取っているなど、かなり面白いと思いました。それを導入したのが農協の職員をされていた方で、いまは市場で品質管理のお仕事をしているということでした。ただ、そこまでいろどり事業を確立させるためには、まちの人を料亭に連れて行って、実際にきれいな葉っぱが使われているのを見てもらって、「こういう商品でなければいけない」というのを理解してもらったりと、苦労も多かった。そこまでやってブランドとして確立したというのは興味深い話でした。南相馬市で同じことをやるのは難しいと思いますが、「高齢者をどう生かすか」という取り組みについては、とてもためになったと思います。

今年度については、事務局からの提案内容を見ると「コミュニティ形成」についての内容が主になっているようです。小高区でも各行政区単位でいろいろ取り組んでもらっていますが、なかなかうまくいかない。

皆さんから、特段大きな反対意見がなければ、一般社団法人ならはみらいさんとオンラインで視察を行うことにして、コロナの状況によっては、直接お伺いするというでもいいのかな、と思います。よろしいでしょうか。

委員より「異議なし」の声あり

○林会長

それでは、今年度の視察研修については〔案5〕の一般社団法人ならはみらいさんへお伺いすることとします。

(2) 小高区内の用途廃止となった学校等施設の状況について

○林会長

次に、その他(2)「小高区内の用途廃止となった学校等施設の状況について」を議題といたします。前回の会議で、堀内委員より質問のありました件について、事務局よりお願いします。

小高区地域振興課（事務局）より説明

○林会長

ただいま事務局から説明がありました。当初から取り組んできた案件がありますが、新基準を満たさない施設については解体、新基準を満たしている施設については、各方部ごとに利活用について検討する、ということになっております。公有財産管理課から利活用について、9月末頃に申し入れがあるということですので、地域協議会でやるのか各区長会でやるのかわかりませんが、いろいろ良い形で話ができればと思います。

いま鳩原小学校には、文化財的なものが置かれておりますし、鳩原幼稚園には小高神社の改修の関係で、神社の備品をいろいろ置かせていただいています。今のところ、一番利活用の価値がありそうなのは鳩原小学校かな、と思っています。

○末委員

以前、鳩原小学校を福島大学で利用するという話があって、最近ダメになったという話を聞いたが、実際のところはどうか。

○上野所長

そういった話は確かにありました。ただ、今のところ決定したわけでも、ダメになったわけでもないようです。まだ、結論が出ていない状況です。

○末委員

そういう噂が流れているのだから、市としてきちんと対応してほしい。住民としては、「鳩原小学校が利用されることになった。よかった。」と思っていたら、数か月後に「やっぱりダメになったようだ」と噂が流れて、残念に思っている。

○上野所長

利用するのが市ではなく他の団体なので、そちらからはっきりとした返事がないと、市では何も進めることができない状態です。

○林会長

校舎は教室がたくさんあるので、1部屋1部屋に企業や個人が入って使えるように、市の方で使えるように整備して貸すとかいうことも考えられる。

逆に、周辺の行政区の住民が「こんなふうに使いたい」ということを考えているかもしれないので、それを無視してやることもできないので、各方部ごとに相談してもらっている。ただ、方部で活用するとなった時に

は、維持管理をどうするのかという問題もある。学校を全部維持管理するとなると、とんでもない金額になる。

○末委員

方部や行政区で使うといっても、老人ばかりなのであと3年から5年くらいしか使えない。いまから10年20年使える施設を作ってもらっても使えない。

○林会長

確かに、新しい組織を作ったとしてそこで運営しようとしても、立ち上げる人が65歳とか70歳とかの人だと、10年後にはその人たちがいるかわからない。

○末委員

80歳になって活動しろと言われても無理な話だ。私たちだって、5～6年できたらいい方だ。

○林会長

将来的なことを考えて、公有財産管理課に前から申し入れているのは、その施設という点だけを見て利活用を考えるのではなく、施設を中心とした地域全体を面としてみて、今後の利活用について考えて欲しいと話をしている。文化財課から怒られるかもしれないが、福浦小学校に文化財課を持って行って、あそこを南相馬市の観光の発祥地点にして欲しいという話もした。きちんと学芸員を置けば、浦尻貝塚のような場所も含め、南相馬市全体を観光案内もできますよ、という形にできる。南相馬市立博物館もあります。小高区にもそういった施設があれば、小高区にある文化財を展示してもいいと思う。いろいろな使い道はあると思うが、まだそこまでは議論が達していない。

○阿部委員

これから各方部と話をしていくにあたって、「市ではこういう利活用を考えている」というのを提示したうえで話をするのでしょうか。会長から話があったように、文化財の資料を展示するのかとか、鳩原小学校であれば先ほど末委員からお話があった件について、いまどういいう話が来ていて、それが現在どういう状況なのかとか、そういうことも提示したうえで話ができるのでしょうか。「皆さん、なにか活用したいことありますか？」というような話し合いではないんですよね。

○事務局（佐藤課長）

そういった話し合いではないと思います。ご説明をするにあたり、公有財産管理課からの資料も確認いたしました。現在の使用状況と、こういったメリットがある施設なので、こんな活用が考えられる、というようなことは記載されていたので、一定程度整理はされた中で話があるのかと思います。

○阿部委員

福浦小学校は校庭も広いし。なおかつ、前の福浦中学校の跡地だってコミュニティセンターもあって、それもどうするのか。福浦中学校の校庭に作った東部運動場もどうするのかとか。そういうことも一体的に説明してもらわないと。

○林会長

今日の配布資料を見ると、各施設に「給排水施設がない」と記載されている。給排水といっても、福浦地区は井戸しかないですよ。となると、これから新しく井戸を掘るのか。それとも、どこかに引っ越してしまった家の井戸から引っ張ってきた方が安いのかとか、そういうことも考えないといけない。その施設を活用するために何が必要か、ということについても考えなければならない。

○小林委員

そういうことに市から費用は出るんですか？

○林会長

出してもらわないと困る。以前に区長会で、片草のパークゴルフ場を整備するのに市を話し合いをしていたが、最終的には「土地は貸しますので、整備費用はそちらで出してください」となるとん挫してしまった。

○小牛田委員

それでは、今回の学校の利活用についても、同じようになってしまっているのではないですか。市で予算を出す気がないのであれば、初めから企業に限定して利活用先を募集したほうが早い気がします。

○西山委員

今度、檜葉町に視察研修に行くことになりましたよね。檜葉町も小高区と同じように、閉校になった学校やコミュニティセンター等、使われなくなった施設があると思います。せつかく私たちの中でこういった意見が出

ているので、檜葉町ではどういう利活用を考えているのか、どういうふう
に行政のお金が使われているのか、どのような支援があるのかという話を
聞いて、南相馬市での施設の利活用について考えることができると思うん
です。そういう事例も持って話をしないと、単なる意見になってしまうと
思うので、きちんと議論の場にそういった事例も示すのが大事だと思います。

○小牛田委員

檜葉町は財政的に豊富で、小高区や南相馬市とは財政的な規模が違って
いる。潤沢に資金はあると思います。

○西山委員

潤沢に資金はあるとしても、それを使ってどんなふう檜葉町がやって
いるのかというのも聞くだけでも違うと思いますし、南相馬市でもロボテ
スとか企業誘致とかをして、少しでも税金を集めようとしていると思うん
です。そういうところも、参考にできればと思います。

○林会長

そういった話も、檜葉町の方とできるように、事務局で依頼をしていた
だければと思います。

○小牛田委員

リモートワークができる施設として、宿泊などもできるように整備し
て、1ヶ月とか2ヶ月とか滞在してもらおうような使い方をしてもらわな
いと、なかなか難しいと思います。

○小林委員

よくあるのは、合宿所のような施設ですよ。

○末委員

築100年くらいの木造の施設の方が、かえって需要がある。そういうの
があればよかった。

○阿部委員

いま宿泊施設という話がありましたが、福浦小学校と鳩原小学校は土砂
災害警戒区域に指定されています。そうなると、宿泊施設としては活用で
きないという制限があるそうですね。もしそういうふう活用するのであ
れば、しっかりとした防災措置をして、という話です。

○林会長

そもそも学校施設だったところが、こういう場所だったというのも驚きですが。

○阿部委員

あとからできた基準に合わせるとそういう事になるのでしょうか。

○半谷（善）委員

小学校についてもそうですが、小高商業高校についても廃校になってからけっこう立っていると思うのですが、今後どのようにしていくのか、県としての動きはないのでしょうか。南相馬市に無償で寄贈しますのでご活用くださいとかいう話もないのでしょうか。

○事務局（佐藤課長）

いまはそこは動いていないようです。

○半谷（善）委員

動いていないというのは、取り組む気がないということでしょうか。

○小牛田委員

建物が耐震基準的にダメだという話は聞いている。

○半谷（善）委員

そうですね。ただ、街なかにあれだけの敷地があるので活用してほしい気持ちもある。

○小牛田委員

あの辺は道路を通すように、都市計画を変更したはずで、それについても早く通してほしいという話をしたのだが、「工場ができれば通します」ということで、「これはダメだ…」と思ってしまった。あの辺りは、準工業地域に用途区域が変更になった。周辺の道路についても車がすれ違えるくらい広くしてほしい。あそこは行政区は三区だが、道路を使うのは吉名行政区の人間だから、昔から要望している。

○林会長

学校施設の利活用については、今後の動向に期待をしましょう。

(3) おだかぐらしプロモーション事業について

○林会長

次に、その他として、「おだかぐらしプロモーション事業について」でございます。担当課より説明をお願いします。

小高区地域振興課おだかぐらし担当より説明

○林会長

皆様からご意見・質問等ありましたらお願いします。

○志賀委員

SNSはフォロワーはいるのですか。

○おだかぐらし担当（木幡係長）

インスタグラムについては、649人フォロワーがいます。今年の年明け1月から、本格的に情報発信ができるようになったところです。今後ウェブサイトに記事を掲載予定で、トップバッターとして地域協議会委員の本田さんにご協力いただいたところです。今年は期間も長めにプロモーション活動に取り組みますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(4) 次回会議の開催について

○林会長

次に、「(4) 次回会議の開催について」事務局より説明をお願いします。

○事務局（大場）

次回の開催について、ご連絡をさせていただきます。

企画課より、「(仮称)南相馬市第3次総合計画基本構想(素案)に係るパブリックコメント手続の実施について」の報告を予定しております。こちらについて、庁内での意思決定の見込みが9月26日であること、またパブリックコメント手続実施期間を9月28日から10月17日の期間で予定していることから、臨時で会議を開催いたします。つきましては9月29日(木)の午後2時より、第6回の地域協議会を臨時開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

また、10月につきましても10月26日（水）午後2時より、第7回の地域協議会を開催いたします。詳細につきましては、それぞれ通知にてご連絡をさせていただきます。よろしくお願いいたします。以上です。

(5) その他

○志賀委員

数日前の新聞で、国際研究教育機構が浪江町にできるのが有力という記事を見ました。こちらについては、相双地区で手を挙げたところから、県が決めるということだったかと思います。南相馬市の対応、小高区としての対応がどのようになっているのかお伺いしたいです。今現在動いているのはわかるのですが、地域協議会として動けることがあるのか、お伺いできればと思うのですが。

○林会長

3年くらい前からこの話がありまして、商工会長と一緒に小高駅の東側に持ってこられないか、という話を小高区として出したのですが、土地のことについて調べたところ、すでに太陽光パネル建設の契約が入っていて難しいということになりました。更に、6号線より東側に20ヘクタール以上の土地を確保しようということで、大臣が視察に来たときなんかも説明をしたが、乗ってくれるかは定かではない。小高の復興には国際研究教育機構のような施設が必要ですので、市長には早めに手を挙げるように話をしていました。しかし、先日の新聞の内容だとどうやら浪江町が有力なようです。南相馬市としてはロボテスのような関連施設もあるので、国際研究教育機構ができれば、そこに国立大学も3つから4つついてくるだろうと思っているわけです。なので、国際研究教育機構そのものが小高区にできなくても、その関連施設が小高区内に作れませんか、ということは今後考えていかななくてはならない。先日、副大臣が視察に来た時にもいろいろ話をしたのですが、どうなるかわからない。今回の記事が、福島県の意向で発表したのかわかりませんが、最終的に決めるのは福島県ですから。ただ、土地を確保して誘致をしないといけないということで、土地の確保はしました。

○志賀委員

だいたいの話はいろいろなところから聞いていました。少なくとも相双地区で警戒区域になっていた区域で、南の方からふたば未来学園（広野町）を持ってきた、Jビレッジ（楡葉町）ではホテルを増設した、モックアップ施設（楡葉町）を作った、JAEA（富岡町・大熊町）の施設ができた、伝承館（富岡町）ができた、浪江町には水素ステーションとロボテ

スの一部ができた、というふうに見ていくと、なにもできていないのは小高区ぐらいだなと、小高区民の人も思っていると思います。南相馬市とすれば「ロボテスがあるだろう」となるかもしれませんが、これ以上無理することないよう、となるかもしれません。吉田栄光さんが県議会議長をやっていますので、「このまま押し通されてしまうのかな」と思って新聞は見ていましたが、少しでも役に立つのであれば、と思って発言をした次第です。

○林会長

小高区でも商工会と区長会で、とにかく小高区に設置しようということで動いたことは動きました。浪江町は昔のアルプス電気の跡地を具体的な場所として挙げているようです。

○志賀委員

その辺の動きも知ってはいました。

○林会長

小高にできれば、私たちとしては1番いいですが。
その他に何かありますでしょうか。

○堀内委員

最近、原町区には新しいお店がぽつぽつオープンしていると思うのですが、小高にそういうお店を作ってもらうような働きかけはしないのでしょうか。私も仕事柄、いろいろお客さんに乗せるのですが、日曜日は小高のお店は閉まっている。原町区は牛越にまた新しくドラッグストアができる。なんで小高に来ないのかなって、話をされます。

○林会長

ドラッグストアなんかは、カワチ・ツルハ・薬王堂が、それぞれ新しくお店をオープンしたところの周りを、競合の店舗が取り囲むように出店するそうです。営業時間なんかも、競合店舗の状況を見て変えたりする。どこに出店するかは、各お店の戦略によるものなので、なかなか難しいですよ。そういうお店が小高にあっても、売り上げがとれるかどうか。

○堀内委員

それでも、小高でも日用品や食品を扱っているお店で日曜日に開いているお店があってもいいんじゃないかと思うんですよね。そういう声が聞こ

えてくるので、ダイユーエイト以外にも日曜日に買い物ができるお店があるといいと思います。小高ストア以外にも商業施設が欲しい。

○林会長

そういうお店を誘致するには、200人とか300人規模の人間が働く工場みたいなものができると変わってくる。人の動きが1日中でできてくる。今の小高にはそういう動きはない。堀内さんも職業柄そういう人の動きはわかると思います。

○堀内委員

そうなんです。「小高区に住みたいけど、日曜日買い物できる場所がないからね」という話も聞きますし。

○林会長

南相馬市全体がそうですが、一般の商店みたいなお店に元気がない。原町の駅前のお店も軒並みシャッターが閉まっているし。飲み屋なんかもすぐつぶれるし。

○上野所長

日曜日に買い物ができないという話は以前から言われていました。小高ストアについても、従業員のことを考えると、なかなか日曜日の営業は難しい、休みにしたいという話はあるのですが、もう1度相談をしたいと思います。また、ダイユーエイトについても、企業として小高での営業を再開することを決めたわけではなく、市の方でお願いをして開けていただいた経緯はあります。人口規模からいうと、ダイユーエイトも開けたくはない。陸橋の下にあったドラッグストアも撤退してしまった。どうしても、商売だと人口というのが基準になってしまうので、何とか人を増やしたいということで、工業団地に力を入れているところです。これからも小高で店が開いて、夜でも町が賑やかになればいいなと思っておりますので、皆様のご協力もよろしくお願ひしたいと思います。

○小林委員

浪江町に住んでいる人も、小高で買い物をしたくなるような商売の仕方をすればいいんじゃないですかね。

○志賀委員

ダイユーエイトは浪江の人もけっこう利用してますよね。

○小牛田委員

逆に浪江に作られちゃうと、小高の人も浪江に行ってしまいますよね。

○半谷（善）委員

防災無線の活用についてなのですが、もっと活用の幅を広げられないでしょうか。例えば、小高のイベントの周知とかについて、新聞に広告は入りますが、新聞をとっていないとその情報も得ることができない。防災無線で告知等することはできないのでしょうか。本来の用途からするとなかなか難しいとは思いますが、小高区民の方からお話がありましたので、こちらで発言をさせていただきました。

○林会長

防災無線の活用についてはいろいろ協議があって、先日、敬老会中止の情報についても防災無線で流せないか、という話をしたのだが、それも防災無線の趣旨とは違うので無理だということで、広報に折り込みました。小高のイベントの情報については、だいたい広報に入っているのですが、皆さんあんまり見ないんですよ。

○小林委員

昔からお願いしているのですが、駅に電子モニターを置いて、そこで流してほしいです。

○末委員

いま駅前と言いましたが、正直なところ駅に行くのは1年に1回か2回くらいしかない。小高の人が駅前に行くなんてことはほとんどない。

○小林委員

どこにあればいいんですかね。区役所の前とかですか。

○林会長

そういったことについても、今後話していきましょう。そういうものを作ったとしても、なかなか見ない人は見ないと思いますが。

○末委員

防災メールで情報を送ればいいんじゃないですか。

○上野所長

防災メールよりは、防災無線の方が情報が伝わりやすいと思います。防災メールは登録している人しか見ることができないので。

○杉委員

河川管理について確認なのですが、飯崎橋から小屋木にかけての河川が、かなりひどい状況です。全国的に大雨が多い中で、小高川が何年か前の氾濫のようになった場合、西町の方へ水が来るんじゃないかという懸念をしている方がいらっしゃいます。その辺はどうなっているのでしょうか。

○林会長

河川の管理については県の管轄になっています。河川の浚渫については令和3年度は小高神社の下のところ、令和4年度はどこまでやるのか提示されていない。

○杉委員

けっきょく災害のことを考えると、市民にとっては身近な問題なので、せめて木とかなんかを切ってもらっただけでもだいぶ違うのですが。

○林会長

河川の整備については要望はしているのですが、あまり進んでいません。特に山の方の河川の川底が浅くなってしまっている。それが原因で氾濫してしまっていることは間違いないので、早急に手入れしてほしいという申し入れはしているが、なかなか進んでいない。

○杉委員

堤防あたりを歩いているとわかるのですが、くるみの木のようなものがあって、万が一のことがあった場合あれが全部邪魔になってしまって、まちに水が入ってきてしまいます。早く対応していただきたいという声がありますので、県の方へ申し入れていただければと思います。

○市民総合サービス課（高野課長）

先ほど会長からもお話がありましたが、昨年浚渫工事を県で行っておりまして、今年度も実施すると、私たちの方へも話がありました。小高神社の下にえぐれている箇所があり、そこを含めて全部やりますという返事はもらっておりますので、ご意見いただいた件につきましては、重ねて要望したいと思います。

○末委員

今の件について、4・5年前から言っているところもあるが、県の返事は予算がなくてできないということだった。年に2河川くらいずつやっていくとのことで、自分が区長だったときは宮田川と原町のどこかの川をやるから小高川はできないと言われた。なので、今の区長に引き継いで会議の場で言ってほしいと言っているが、やはりいい返事はもらえない。震災後、木が大きくなってしまっているの、その辺を考えてもらって、木の伐採だけでもやってほしい。

○林会長

以前は、水門の管理を行政区で請け負って管理していたが、震災後やらなくなってしまった。なので水門の管理もできていない。それについては、きちんと動かせるように見直してもらっている。あとは北鳩原あたりの川底も浅くなっているの、そこの修理をしている。引き続き要請はしていきます。

あとは仮置き場周りの草刈りについても、環境省にやってもらうように要望します。

○末委員

今年、頼まれて草刈りをしたが、草がすごすぎて、自分が持っている機械では、オーバーヒートしてしまってできなかった。

○小牛田委員

草刈りで出たごみは、いつまで燃やしてはダメなのか。

○林会長

農地の草はそのままにしておいてもかまわない。

令和4年度第5回小高区地域協議会会議録

小高区地域協議会長 林 勝典

会議録署名人 堀内 洋伯

会議録署名人 小川 潤一男